

## 千歳橋

千歳橋は平成 15 年 4 月大正内港（鶴町～北恩加島）への架橋により、大正区内の環状道路を形成して地域交通を円滑化するとともに、大正通りの交通混雑を緩和するものです。

橋長 365m、車道幅員 7.0～8.8m、歩道幅員 3.0m で緊急時には、広域非難場所への避難路としての役割も担っています。主橋梁部はアーチ橋とトラス橋が融合する 2 径間連続ブレースドリブアーチ橋です。（※ブレースドリブアーチとは棒部材を組み合わせて構成した骨組構造をトラスといい、アーチ部をトラス構造とした形式）

鮮やかなブルーを基調とした千歳橋は近隣の赤の港大橋、ライトブルーのなみはや大橋と並んで景観にも配慮したシンボル性の高いもので、大正区の新しいランドマークとなっています。



『大正区ホームページ』から転載

